



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉社経営士 ニュース KFK News



特集

2020年度実践研修からの学び 研修で培われた 実践的な経営分析力

2021

1.31

No.79

CONTENTS

特集 2020年度実践研修からの学び
研修で培われた
実践的な経営分析力

2

●第5回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
入選作品掲載

5

●21世紀介護事業創造塾
研究会開催
●介護経営オンラインセミナー
「コロナ禍の戦略的求人方法」
開催

6

●今月の「介護ビジョン」
●今月の注目書籍

7

●イベント掲示板
●「介護福祉経営士2級」
資格認定試験対策
WEBポイント整理講座の
ご案内
●INFORMATION

8

一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 謙
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階

研修で培われた 実践的な経営分析力

「介護福祉経営士」実践研修は、同1級の筆記試験合格後に「同2級」から「同1級」への等級変更の要件として実施されている。昨年度までは協会が指定する受講地・実施施設で行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み今年度はWEBを利用したオンライン形式で実施した。ファシリテーターとして宮島渡氏(日本介護福祉経営人材教育協会北信越支部長、日本社会事業大学特任教授)を迎えて、介護福祉経営士1級会員の有志がアドバイザーとして参加。2020年10月11日、11月22日、12月13日の3回に分けて行われた。今回は第3回の研修の内容を中心に実践研修の様子をレポートする。

多様な意見交換から得られた 介護福祉経営実践のヒント

第1回～第2回の実践研修は、共通課題として実在する社会福祉法人の経営資料を使用し、経営分析の手法とプロセスを学び(第1回)、その後グループごとに分かれ、選択課題として用意された経営事例の課題・改善策を検討し、経営分析の手法とプロセスを学んだ(第2回)。

第3回ではグループごとに実施した経営分析の結果と

導き出した改善案についてディスカッションすることが課題となる。

受講者は事前にAとBの2つのグループに分かれ、ビジネスSNSなどを活用しながらグループ内でディスカッションを重ねており、研修前半でそれらの内容をグループ内で再度補足・確認した後、代表者による発表が行われた。

Aグループは、株式会社が運営するグループホームに関する事例を課題として選択。離職率が高く、職員の入れ替わりが激しいうえ、派遣社員の雇用にあたって人件費

Step01

第1回

共通課題を使用し、経営分析の手法とプロセスを学ぶ

共通課題

神奈川県内の社会福祉法人が運営する特別養護老人ホームを事例として使用

[イメージ]



Step03

第3回

課題事例への分析作業を通して見えてきた内容をまとめ、具体的な方策を策定し発表



課題事例となった組織の「目標はなにか?」
目標達成のために活かせる強みは何か?
目標達成の障害となる弱みは何か?
目標達成にプラスとなる外部要因は何か?
目標達成の障害となる外部要因は何か?



Step02

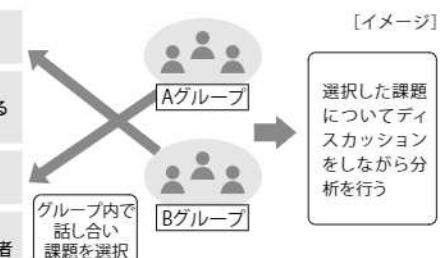
第2回

選択課題を使用し、経営分析の手法とプロセスを学ぶ

選択課題

過去の実践研修受講者の提出資料より、データを抽出したもの

- 事例① 介護老人保健施設
- 事例② 事業を複数展開している社会福祉法人
- 事例③ 居宅介護支援事業所
- 事例④ 福祉用具貸与・販売事業者



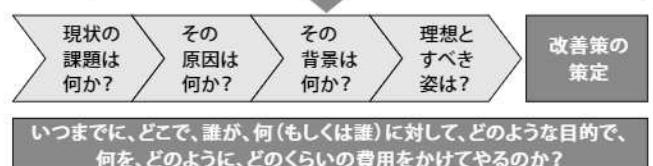
Step04

事後課題

研修を通して、学んだ手法を研修参加者自身が所属する組織に当てはめ、課題を抽出。自分の職域に近い課題選び、具体的なアクションプランを策定する。



自分が所属する組織の「経営理念(ビジョン)はなにか?」
その経営理念は実現できているのか?
経営理念に反しているような課題はないか。



いつまでに、どこで、誰が、何(もしくは誰)に対して、どのような目的で、何を、どのように、どのくらいの費用をかけてやるのか?

率も高まっている点などに注目した。課題解決のために重視すべきポイントとして、「教育(後進の育成およびリーダー層の教育等)」「人材(離職率の改善、従業員満足度向上等)」「理念(現状に即した理念とビジョンの再検討)」などを挙げた。また、これらの内容は実際に作成された改善案にも取り入れられ、資格取得のためのフォローアップ研修や職員の評価制度の見直し、人材確保計画立案の段階からどのような人材が必要なのかを明確化するといった具体的な項目が目標として提示された。

Bグループは、複数の病院を有する医療法人が運営する介護老人保健施設について分析を行った。法人の現状の課題として、「売り上げアップ」「人材確保」の2点を挙げ、稼働率が低い点や法人内部での連携不足がある点、加算項目が算定できていない点、人材確保後の研修制度が未整備である点などを原因として指摘した。

また、「医療・介護の質を高めることで経営の質を向上させ、地域の患者・利用者に選ばれる法人になる」「職員が主体的に、いきいきと働く法人になる」といった点を理想とする法人像として掲げ、それに基づいて改善計画の立案が行われた。

具体的な計画内容としては、「職員への法人理念の浸透のために、全職員に対する理事長の講話の実施や行動規範の策定」「社内連携強化のために法人内を横断するマトリックス組織※の立ち上げ」「業務効率化を目的としたデジタル化・AI化の導入と実施主体としての経営戦略室の立ち上げ」などが提案された。

※マトリックス組織…機能や事業、エリア、時間などの異なる要素を組み合わせ、複数の軸で構成された組織をさす。異なる複数の事業を同時に進行で進めることに適した組織形態と言われる。

受講者ごとに特徴が分れる 事後課題テーマ

次に、グループごとに受講者自身の事後課題のテーマについてディスカッションを行った。事後課題は研修をとおして学んだ手法を用いて、受講者自身が所属する組織等の問題解決に資するテーマを設定する。ディスカッションではこれまで共に研修を行ってきたメンバー同士ならではの活発な意見交換が行われた。

以下に発表された事後課題テーマのいくつかを紹介する。

事後課題のテーマ

- グループ内の施設のうち、自分の所属する施設だけが年間売上げが伸び悩んでいる。所属施設の売り上げアップおよびその他の施設との差別化をテーマとしてとりあげたい。現状の把握がまだ十分ではないので、外部環境や内部環境の現状分析をより深めながら問題点の模索からはじめたい。(介護施設勤務)
- 金融機関のヘルスケア部門に勤務しており、主に医療法

人、介護事業者のファイナンスのサポートを行っている。現在関わっている特養の新規立ち上げの案件をモデルとして理念の設定などについて考えていきたい。また、収支計画や財務の面については自身の強みを生かしながら計画を作っていく。(金融機関勤務)

- 介護事業所にIT・ICTの活用を促進するためのソフトを販売している経験を活かし、IT・ICTの活用をテーマとしてとりあげる。自分が知っている成功事例などを交えて分析をしたい。また、どのようにICTを活用し、生産性の向上を目指すかという点についても検討していかたい。(一般企業勤務)

この後、受講者はこれらのテーマを元に具体的なアクションプランを策定することとなっている。

次にこれらの取り組みを受けてアドバイザーから寄せられたコメントを一部抜粋してご紹介する。

各グループの担当アドバイザーからの感想

- 深いディスカッションをされていると感じた。さまざまな業種の方が参加して、それぞれの立場・背景の中で介護業界を見つめているので、自身の立ち位置から今後介護業界をどうイノベーションしていかたいのかを意識し、アントレプレナーシップ(entrepreneurship:企業家精神)を持った計画につなげていっていただきたい。(Aグループアドバイザー)
- 経営者が実践したくなるような計画にすることが重要。そのためには経営者の思いをきっちりと汲み取ることが求められる。時には与えられたもの以外の情報(経営者の言っていないこと)を状況から読み取ることも求められる場面もある。そういう点を考慮したうえで、組織の弱みと強みを把握し、強みをどのように活かしていくのかを考えていっていただきたい。(Aグループアドバイザー)
- 財務的なことももちろん重要だが、介護現場は人がいなければそもそも収入がままならない。いかに人を確保するかが重要な課題となる。近年若者が介護をしたがらないという風潮が強まっているが、単純に外国人で補えばいいという状況でもない。経営戦略室などを設置し、世界的な状況などについても考えながら人材確保をしていく必要がある。(Bグループアドバイザー)
- 介護現場が抱えている問題というのは、現場の職員一人ひとりというよりも、リーダーや経営者層の人材レベルが低いことが問題だと思っている。さまざまな立場の方が参加しておられるが、それぞれの立場で必ず活躍できるのが介護業界。今後は介護業界と他業界との間で知識の交換を求める場面も増えてくるため、学んだことを活かしていただきたい。(Bグループアドバイザー)
- リスク管理やコンプライアンスといった側面からのアプローチも検討していただきたい。今ある課題を分析して解決するだけではなく、これから起きたであろう課題に普段から備える視点を持っていただきたい。(Bグループアドバイザー)



実践研修参加者の声 (アンケートより抜粋)

Q この研修でどのような学びを得られましたか。

A 介護業界以外の職種のため、介護事業経営に関して多くの新しい知識を得ることができました(商社(医療品)勤務)。

A 経営は深い!!私には難易度が高かったのですが、色々な人の意見が聞けて少しですが課題分析の大切さが分かった!(介護施設勤務)

A まず、研修会場に赴かなくてもリモートで十分な研修を学ばせて頂いたことに感謝しています。多くのアドバイザーの先生から貴重な資料、考え方などを教授頂き、ありがとうございました。メンバーの皆様と「チャットサービス」にて、意見交換ができ、何不自由なく進めることができました。アドバイザーの先生の見識の高さ、メンバーの方のレベルの高さを痛感させられました。自分自身の今後の取り組みでの励みとなり、向上心を掻き立てられました(一般企業勤務)。

Q この研修で学んだことをどのように業務に活かしたいですか

A 現状の課題探求と改善(特に人事)(医療法人社団勤務)

A 組織連携をすることで、点の経営から線の経営、最終的には面の経営へと発展させたい。そうすることが、施設へ入居されている方の充実した生活にもつながると思います(医療法人勤務)。

A 問題点の絞り込みから解決の糸口を見つける手法を生かしたいです(医療法人勤務)。

Q その他のご意見

A 実のところ、オンラインは不本意でした。従来の研修ならば「現場の生の声」といった空気感を味わうことができたからです。しかししながら、メリットを感じた点が多くありましたし、結果的に、斬新かつ意義のある研修を遂げることができたことを嬉しく思っております。今後も本資格の活用はもとより、この厳しい時代を見極めつつ、そのときに見合った情報の収集、さらには交流を行なっていければと思っています(医療法人社団勤務)。

A 今回の実践研修では、アドバイザーの方々から多くの意見を頂くことができ、良い学びの場となりました(医療法人勤務)。

ファシリテーターコメント

宮島 渡氏

(日本介護福祉経営人材教育協会 北信越支部長、日本社会事業大学 特任教授)

チャットなどを活用しながら議論が活発が行われており、真摯に学ぼうという姿勢を強く感じました。コロナ禍によって一見不自由になった部分が良い方向に働いたと思います。

分析にあたり、内部・外部環境の分析や自組織の強みを活かした差別化戦略などをいかに全体的な経営戦略に結び付けていくか、それをどう計画に落としていくのかという点をよく検討してみていただきたい。また、課題の多くはやはり困りごとが多いため、どうしてもネガティブな内容になります。理想とすべきことに焦点をあてながら分析を進めていただけると良いのではないかでしょうか。

加えて、中長期的な計画を作成するにあたっては具体的

な担当部署や担当者、明確な数値的目標などを設定すると、達成の度合いなどがわかりやすく、次につながる計画になると思います。

また、人材については採用だけではなく定着、育成、活用といった側面にも目を向けていただきたい。特に育成にあたってはリーダー層にいかにコンセプチュアルスキル(概念化能力)を身につけさせていくかという点が今後介護経営において重要となってきますので、その点に焦点をあてたプログラムを考えていく必要性も意識していただきたい。

こうした点に配慮していただきながら、ぜひ実りのある計画を策定していただきたいと思います。



vol.1

第5回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入選作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する場として、2020年に第5回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施。全国から寄せられた551編から黒澤貞夫審査委員長(一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事)のもと厳正な審査が行われた。入選作品を紹介する。

優秀賞

「楽しい人生だったと思ってもらえる 介護を目指して」

ささき あいね
佐々木 愛音さん

(栃木県立真岡北陵高等学校 介護福祉科 2年)

私は、昨年の冬にひいおばあちゃんを亡くしました。ひいおばあちゃんは92歳で、もうすぐ新年を迎える12月の月末頃に他界しました。

ひいおばあちゃんととの思い出はあまり多くはありませんでしたが、私はひいおばあちゃんのことをとても好いていました。私の記憶に残っている思い出は、ひいおばあちゃんも一緒に、大家族でディズニーランドに行ったということだけ覚えていることも少ないですが、その時のひいおばあちゃんはとても楽しそうでした。

年が過ぎて、当時は車椅子だったひいおばあちゃんも寝たきりになってしまい、特別養護老人ホームへ入所することになりました。

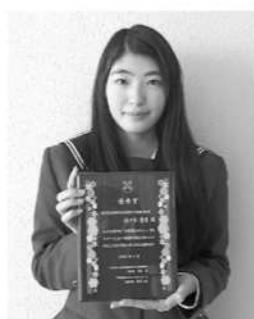
私のひいおばあちゃんは身体が弱っていましたが比較的認知能力が高く、入所してからも母や私の顔を見ると嬉しそうに笑ってくれ、声をかけると返事をしようと喉をガラガラさせて会話をしてくれました。「帰るね。また来るよ。」と言うと涙を浮かべながら「まだいてほしい。」と訴えるように弱い力で精一杯止めようと手を握ってくれました。そんなひいおばあちゃんも面会に来る度に弱くなっていて、反応や笑顔も少しずつなくなっていました。それでも私と両親は毎回声をかけ続け、手を握り、帰る時には「また来るね。」と言い続けました。ですが、家があまり近くないこともあります、面会に来れないままひいおばあちゃんは息を引き取りました。

受賞者コメント

今回、私の書いた作文を優秀賞に選んでいただき本当にありがとうございました。この作文は、曾祖母との思い出やその時の経験から学んだことを素直に書きました。

利用者様に寄り添える介護福祉士になれよう頑張っていきたいと思います。

佐々木愛音さん



この体験から、私は皆さんに二つ伝えたいことがあります。

一つ目は、認知症や寝たきりになってしまってきちんと向き合い、会話や声かけを大切にし、手を握るなどのシンシンシップを図ることを意識してほしいということです。私のひいおばあちゃんのように家族のことをきちんと認識できる人ばかりではないのが現状ではありますが、それでも、もしかしたら声や態度として表すことができていないだけで家族からの声は届いていて、ちゃんと聴いてくれているかもしれませんし、手を握ったり優しくなでてあげるなどシンシンシップを図れば温もりを感じ取り嬉しく思ってくれるかもしれません。老化や障害、疾病により感知や理解がむずかしくなってもそれらの行動には何かしらの意味があると思います。そのことを考え、認知症や寝たきりの方にも接するようにし、相手を良く観察することで相手の思いや感情を感じてほしいと思います。

二つ目は、家族との時間を大切にしてほしいということです。楽しい人生だったと思ってもらえるように、元気なうちに遊んだり、面会に来るようにして思い出づくりをたくさんしてほしいです。そうすることで、人生の最期を満足に過ごせると思います。

以上の二つを実践してもらうと共に、介護従事者を目指す私たちが利用者と家族の皆さんに幸せにいてもらえるよう、今を大切に一つひとつ学んでいけたらいいなと思います。

審査委員長のコメント

曾祖母が亡くなったことに対する自分の思いという素朴な点を出発点として、介護における「人間関係」や「死」という哲学的なテーマを学生の視点からしっかりと考察ができていると感じました。「自分らしい人生を懸命に生きてきた高齢者に対して、尊敬や心配りの念をもって接する」という、この作品の内容は終末期ケアの根本につながる重要なポイントをついています。現代の介護理論的な観点からみても大変良い問題提起をしている作品だと思います。

介護業界の今とこれからを考える

21世紀介護事業創造塾は介護福祉事業に関する実践的な研究活動を主催または支援することで、経営者の育成と資質の向上、経営ノウハウの共有と蓄積等を通じて、地域福祉の活性化、国内外の介護福祉事業の健全な発展に資することを目的として開催されている。介護福祉経営士も複数名参加しており、活発な議論の場となっている。今回は2020年12月21日に行なわれた研究会の様子をレポートする。

今回の21世紀介護事業創造塾は「介護報酬改定研究会」「看取り研究会」の二部構成で開催。

第一部前半では小濱道博氏（小濱介護経営事務所代表、一般社団法人日本介護経営研究協会専務理事（NKK））により、最新の介護報酬改定についての解説が行われた。

小濱氏は今回の改定率が+0.7%（うち0.05はコロナ対策のための9月までの限定改定のため実質は+0.65%）となり、2回連続のプラス改定となった一方、収支差率については3年前の3.3%に比べ、直近の値が2.4%と、人件費の上昇などを原因として0.9ポイントのマイナスとなっている点を指摘。一見プラス改定に見えたとしても実際の事業所のマイナス部分をカバーしきれるのかは疑問が残るとの見解を述べた。

また、報酬改定により加算の要件が厳格化され、減収する事業所と、大きく収益を上げることができる事業所との2極化が進むと述べた。

その上で、BCP（事業継続計画）の策定義務化やVISIT及びCHASEへの対応、計画書や契約書のひな形の変更等を踏まえ、「実務的な対応がかなり多く求められる大改定」と

結論付けた。

第一部後半ではこれらの小濱氏の解説を元にディスカッションが行われ、サービス提供体制強化加算等の人員規定のうち、職員の勤続年数の要件が議論の俎上にあがった。勤続年数を確保するために事業所側がどのような工夫をすべきか等について意見交換が行われ、実際に経営者の立場にある参加者などから情報提供が行われた。

第二部は「看取り」をテーマに行われた。全国約20か所で在宅ホスピスを展開する株式会社シーウーシー・ホスピス代表取締役社長の吉田豊美氏より事業の内容や近年の看取りについての状況等について解説が行われた。吉田氏は「利用者の希望や家族の想いを果たすうえでは看護師、医師ではなく介護職こそが主役」と述べた。また、看取りに特化するにあたってのチーム作りの重要性についても強調した。

その後のディスカッションでは欧州のホスピスの見学経験のある参加者より情報提供が行われたほか、看取りケアにおける哲学、宗教、タブーの概念を今後どう取り扱っていくべきか等について意見交換が行われた。

介護経営オンラインセミナー「コロナ禍の戦略的求人方法」開催

採用プロセスの仕組み化が重要

2020年12月11日、株式会社日本医療企画は「介護経営オンラインセミナー コロナ禍の戦略的求人方法」を開催した（株式会社マネージリテラシー共催、当協会後援）。

講師は介護経営コンサルタントとして介護事業者専門の経営支援を行っている株式会社マネージリテラシー代表取締役の横山健氏（介護福祉経営士2級）。

横山氏はまず、介護における求人の状況について解説。介護職員の充足率が現在86%であるにもかかわらず、平均4倍、都心部では約7倍の有効求人倍率である点や採用コストとして一人当たり平均50～60万円程度の費用となっている点について具体的なデータを交えて解説した。

続けてコロナ禍における求人の状況の比較対象としてリーマンショック時のデータを引用、リーマンショック時は全産業平均、福祉分野とともに有効求人倍率が下がった（採用がしやすくなつた）が、コロナショックでは全産業平均倍率は低下したものの、福祉分野は大きく変わらず、人材の競争率の高い苦しい状況が続いて

いる」と述べた。

また横山氏はコロナ禍における採用の変化の一つとして、これまでの採用情報の入手、施設見学、面接というプロセスにおいて見学までの時間が長期化している点を挙げ、求職者の不安につながっていると語った。

加えてそれらの不安を軽減する手法として、コミュニケーションアプリなどを利用し、コミュニケーションの手段、頻度を改善することで結果的に採用率が上がった事例などが紹介された。

横山氏は採用のプロセスを再度見直し、どのステップがエラーを起こしているのかを分析、仕組み化することが重要と述べ、「例えば、見学についても現場の雰囲気がわかるようあえて現場スタッフに担当させ、事前に台本を準備しておくなどの工夫が必要」といった取り組み案を紹介した。また、ホームページの閲覧ログなどを活用し、どのようなコンテンツを閲覧しているユーザーが求職につながっているのかといった分析事例などについても解説が行われた。

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的な事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

介護の「見える化」 何をどのように行うべきかを考える

介護現場においても「見える化」が求められている。業務の効率化やケアの質の向上など、その目的はさまざまだ。介護現場での「見える化」とは、何のために・何を見る化するのか、見える化することによって何が得られるのかがわからないままに、漠然と行われているケースが多い。本特集では、業務の見える化、経営の見える化、ケアの結果の見える化の3つについて考えてみたい。

提言

ケアサービスの見える化の目的はケアの標準化に尽きる
社会福祉法人 にんじんの会

Case study 1 業務の見える化

見える化することを業務にせずその先の目的を明らかにする
株式会社 らいふ

Case study 2 経営の見える化

数字を見える化することで職員の意識を高めていく
社会福祉法人 小田原福祉会

Case study 3 結果の見える化

総合的なアウトカム評価を可能にするSIOS
株式会社 楓の風

2021年2月号

(2021年
(1月20日発売)

詳しくは [介護ビジョン] 検索

- 毎月20日発行
- 定価:1,296円(税込)
- 定期購読料:15,552円(税込)
- ※会員価格は12,444円(税込)

第2特集

ウィズ・コロナで変わる 外国人材導入のあり方

今月の
注目書籍

世界はチャレンジにあふれている —高齢者ケアをめぐるヨーロッパ&中国紀行

ポストコロナ時代の高齢者ケア・地域包括ケアを
考える渾身のレポート

世界を見れば 日本のケアの未来がわかる!

日本は超高齢社会の先進国であっても、介護・看護の先進国ではない。

今、学ぶべきは、高齢者ケア・地域包括ケアに挑戦する先駆的な世界の取り組みである!

ポストコロナ時代のケアのあり方をグローバルな視点から
考える渾身のレポート!

《著者》

山崎摩耶 やまざき・まや

(ヘルスケア・コンサルタント/日本認知症グループホーム協会顧問/
元衆議院議員)

《定価・体裁等》

- 定価:本体価格2,700円+税
- 体裁:A5判/352ページ



目次

デンマーク編/イギリス編/ドイツ編/フランス編/
オランダ編/フィンランド編/リトアニア編/中国編

介護福祉経営士が知りたい! イベント掲示板

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを紹介。スキルを磨き、経営同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

株式会社日本医療企画

2021年度介護報酬改定を踏まえた withコロナ時代のマネジメント

2021年介護報酬改定にむけての重点施策や、改定内容をおさえながら、withコロナ時代に必要なマネジメントについての学びを深める。感染症や災害への対応力強化、介護人材の確保・介護現場のICT化、制度の安定性・持続可能性の確保など、あらゆる問題を解決に導くための研究会。

■日時:【第1回】2020年12月18日(金) 【第2回】2021年1月22日(金)
【第3回】2021年2月26日(金) 18:00~19:00(受付開始17:30~)

※3日とも同時間での開催となります。

- 講師:神内秀之介氏
(ふくしのよろずや神内商店合同会社代表/
公益社団法人北海道社会福祉士会会長/
一般社団法人北海道介護支援専門員協会理事/介護福祉経営士1級)
- 受講料:2,000円(税込)
- 定員:50名 ※定員に達し次第、締め切り
- 開催方法:
①ZOOMによるライブ配信(後日アーカイブの配信予定はありません)
②日本医療企画 北海道支社セミナールーム(会場参加は先着10名様限定)
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 北海道支社
担当:緑川
TEL:011-223-5125

株式会社日本医療企画

2021年度介護報酬改定の全貌を徹底解説! ウィズコロナ・アフターコロナ時代の経営戦略とは

■講演1 2021年度介護報酬改定のポイント整理と対策

■講演2 制度改定と今後の住宅型サービスのあり方
～求められる医療系サービス～

■日時:2021年2月13日(土) 13:00~16:30

■講師:

- 【講演1】糠谷和弘氏(株式会社スタークーンサンレーティンググループ代表取締役)
【講演2】土井勝幸氏(医療法人社団東北福祉会介護老人保健施設せんだんの丘
施設長)

■開催方法:

- ①TKPガーデンシティ仙台(宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 30F)
②会場の様子をWEB(Zoom)によりリアルタイムで配信

■参加費:無料

■定員:200名 ※定員に達し次第、締め切り

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 東北支社
担当:浅石
TEL:022-281-8536

WEB受講
開始!!

「介護福祉経営士2級」資格認定試験対策 WEBポイント整理講座のご案内

自宅や
職場からも
受講できます!!

「介護福祉経営士2級」資格認定試験の出題範囲に準拠したテキストを用いて重点項目や押さえるべきポイントをわかりやすく解説。

介護福祉における法制度はもちろん、介護福祉サービスのしくみや介護福祉産業の動向や理解を深めるとともに、日常業務にも役立つ内容となっている。

日 時 2021年2月21日(日) 9:30~17:30

講 師 馬場博氏(一般社団法人C.C.Net 専務理事・チーフアドバイザー)

開催方法 ①WEB受講(Zoom使用)

②会場受講S-GATE八丁堀(東京都中央区八丁堀三丁目20番5号9階)

※WEB・会場の希望受講方法をお選びいただけます。

受 講 料 15,000円(税込)

※本講座は2日講座から1日講座に変更となりました。

※当日は、「介護福祉経営士基礎編10巻」を使用いたしますのでテキストにつきましては、各自事前にご用意いただいた上でお申し込みください。テキスト購入のご相談も事務局にて、受け付けております。

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 介護経営事業部 担当:児島・干場 TEL:03-3553-2885

ご注意 WEB受講ではWEB会議アプリ「ZOOM(ズーム)」を使用いたしますので、ZOOMをご利用いただける環境が必要となります。

※新型コロナウイルスなどの影響により、開催日程の変更・延期、開催方式の変更などが生じる場合がございます。ご了承ください。

KFK INFORMATION

「2021年介護福祉経営士合格者のつどい」開催のご案内

「介護福祉経営士2級」資格認定試験に合格した方の交流を目的として「合格者のつどい」を開催します。先輩経営士とも交流できる機会です。ぜひご参加ください。

詳細が決定いたしましたら、協会ホームページ、媒体などにてご案内させていただきます。

■開催日時:2021年2月予定

■開催方法:オンライン開催